

住民との懇談会の状況

住民の皆様からの意見聴取方法

第6回 天竜川
流域委員会 資料-2-1

現在までの住民の皆様からの意見聴取の手法

(平成20年7月9日現在)

- ①天竜川上流河川懇談会・天竜川地域懇談会等の開催（平成20年6月17日～20日、28～29日、8会場、427名）：総意見数1,345件
- ②意見募集はがき：総意見数19件
- ③インターネット・電子メール：総意見数2件



飯田会場



磐田会場



浜松（二俣）会場

懇談会等の開催結果

第6回 天竜川
流域委員会 資料-2-1

天竜川上流河川懇談会・天竜川地域懇談会等 開催結果

会場名	開催日時	開催場所	手 法	参加人員	意見数
飯田会場	6月17日(火) 19:00~21:00	天竜川総合学習館 かわらんべ	グループ方式 (4グループ)	38名	98件
磐田会場	6月17日(火) 18:30~20:00	アミューズ豊田	グループ方式 (7グループ)	75名	299件
伊那会場	6月18日(水) 19:00~21:00	伊那市役所	グループ方式 (8グループ)	83名	219件
辰野会場	6月19日(木) 19:00~21:00	辰野町役場	グループ方式 (3グループ)	16名	97件
浜松(二俣) 会場	6月19日(木) 14:00~15:30	二俣公民館	車座方式	50名	153件
浜松(東区) 会場	6月20日(金) 18:30~20:00	静岡県西部地域 地場産業振興センター	グループ方式 (8グループ)	114名	374件
天竜川 ゆめ会議	6月28日(土) 13:30~16:30	駒ヶ根市赤穂公民館	グループ方式 (4グループ)	20名	5件
三峰川 みらい会議	6月29日(日) 13:30~16:30	伊那市役所	グループ方式 (3グループ)	31名	100件
合 計				427名	1,345件

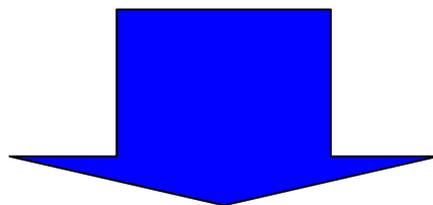
いただいた意見の“整備計画原案（案）”への反映

第6回 天竜川
流域委員会 資料-2-1

河川懇談会・天竜川地域懇談会、インターネット、はがきなどを通じて
いただいた意見

1,366件

（平成20年7月9日現在）



個別意見や質問にはそれぞれに回答し、
インターネット及び縦覧で公表

住民の皆様からいただいた意見の状況

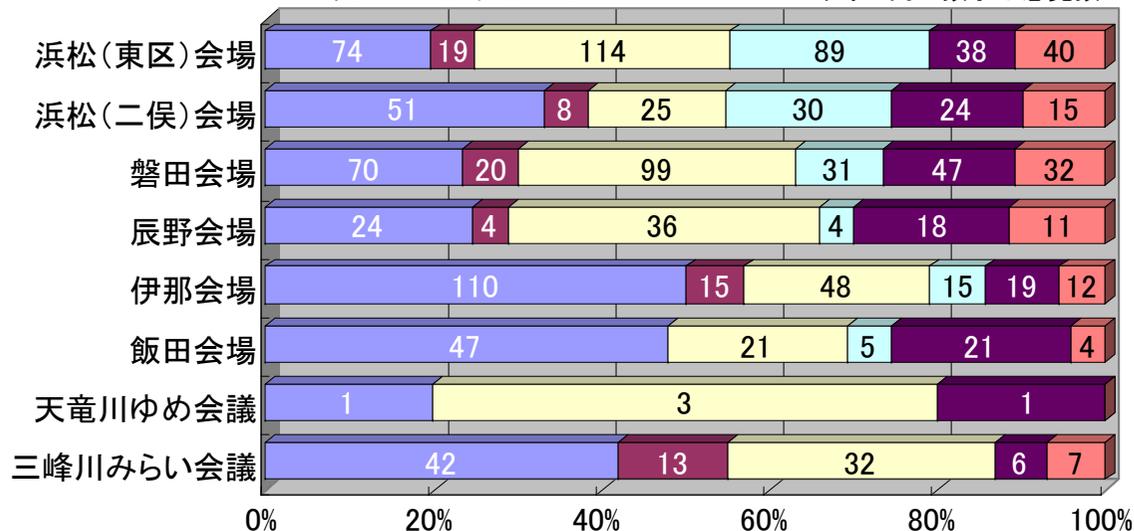
第6回 天竜川
流域委員会 資料-2-1

意見割合

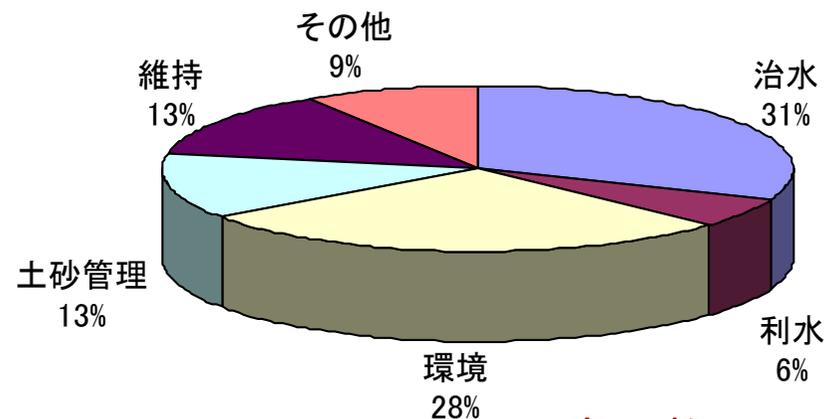
■ 治水 ■ 利水 ■ 環境 ■ 土砂管理 ■ 維持 ■ その他

会場別意見割合

グラフ内の数字は意見数



分野別意見割合



意見数=1,345

	治水	利水	環境	土砂管理	維持管理	その他	合計
浜松(東区)会場	74	19	114	89	38	40	374
浜松(二俣)会場	51	8	25	30	24	15	153
磐田会場	70	20	99	31	47	32	299
辰野会場	24	4	36	4	18	11	97
伊那会場	110	15	48	15	19	12	219
飯田会場	47	0	21	5	21	4	98
天竜川ゆめ会議	1	0	3	0	1	0	5
三峰川みらい会議	42	13	32	0	6	7	100
合計	419	79	378	174	174	121	1,345

住民の皆様からいただいた意見 1 (治水)

◆河道整備

- ⇒河川の樹木は伐材して、ダムを造る前の河川にしてほしい。樹木の丈が堤防を越えている。
- ⇒河道内樹木でも水勢を弱める働きがあるので木を残した方がよい箇所を検討すること。
- ⇒中州が多すぎるのももう少し減らした流れもスムーズになる。
- ⇒河道（中州）掘削をコアジサシの巣があり変更してほしい。
- ⇒河川敷の柳の木にカブトムシ・クワガタムシを見ることのできる所がある。残して欲しい。
- ⇒河床低下により他の中小河川も低下が見られる。河床が下がっていることによる影響があるのかどうなのか不安である。

◆堤防整備

- ⇒堤防の補強（弱い所）をお願いします。
- ⇒堤防の安全度を上げてほしい。
- ⇒浸透対策は早急に。
- ⇒天竜川の堤防は、ほとんどが砂利でできている。浸透対策は全川で行う必要があるのではないか。
- ⇒護岸で削られそう所を早く整備してほしい。

◆治水全般

- ⇒三峰川の上流に大崩壊地があることを周知し、安全な三峰川を。
- ⇒天竜川の洪水時に支川に逆流が生じるため排水機場を。
- ⇒スーパー堤防整備計画に組み込んで、地域活性化の基礎となるようにしてもらいたい。

◆洪水調節機能

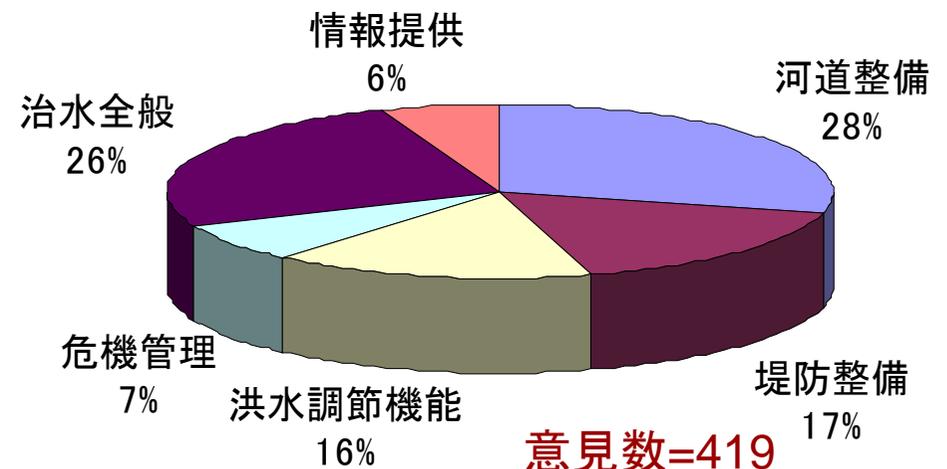
- ⇒戸草ダムは必要。
- ⇒戸草ダムの建設を取りやめたとき、美和ダム上流域の安全確保はどうか。
- ⇒なぜ水力発電をやめるのか。自然保護が叫ばれている最中に。

◆危機管理

- ⇒東海地震時、津波に対する堤防の高さを高くする。
- ⇒東海地震の津波に対する対策の考え方は？
- ⇒津波・洪水時、同時の発生に対しては考えているか？
- ⇒水防、管理施設、倉庫、拠点の設置をしてほしい。

◆情報提供

- ⇒水位等の観測地点を多くし、情報提供をきめ細かく行ってほしい。
- ⇒戸草ダムの方針や情報、しっかり教えてほしい。



住民の皆様からいただいた意見 2 (利水)

第6回 天竜川
流域委員会 資料-2-1

◆水利権

- ⇒合理的な水利用をしてほしい。ダムの利用を相互にできるように。柔軟なダム利用ができるように。
- ⇒佐久間ダム下流、維持用水を確保してほしい。
- ⇒水利権がらみでできないかもしれないが、寺谷用水等などにもっと水を流してほしい。冬期でも少しは流してほしい。
- ⇒農業をしています。今田植えが早くなっていますので5月に水量を多くしてほしい。
- ⇒渇水期、ダムの水が利用できないと農業が困る。農業の立場から。

◆地下水

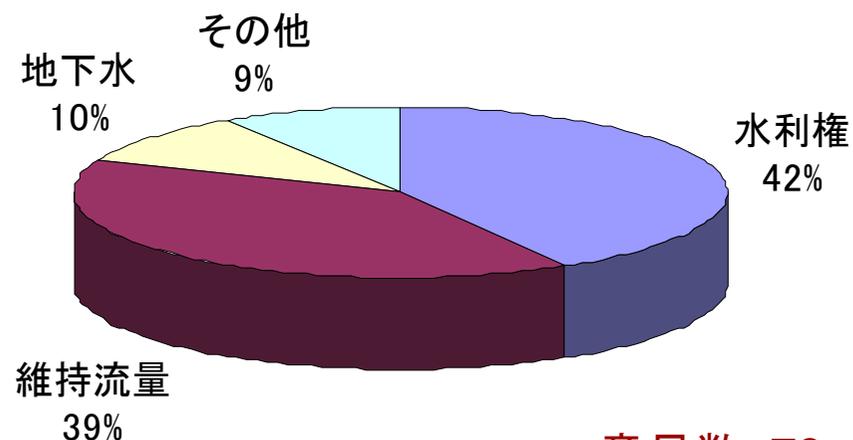
- ⇒地下水位低下が心配されている。飲料水として利用する、水位管理はどの様になっているか。
- ⇒井戸の水位が、昔に比べて下がっている。天竜川本流の水流の減少が原因ではないか。常時もう少し高い水位を保てないか。

◆その他

- ⇒原水が汚れることから水道水をできるだけ地下水で取り、他の水をダムから取るのが良い。雨水利用のタンクを各所、各家庭に設置し有効利用したらどうか。

◆維持流量

- ⇒天竜川の水量を増やす工夫。常時の水量を増やしてほしい。
- ⇒ダム下流域水区域の維持流水の確保を定める。天竜川全体で。
- ⇒渇水の時期に船明ダムの放水ができないか。魚の為に必要です。
- ⇒カヌーや川遊びができる程度の流量を流して欲しい。
- ⇒水管理の徹底（全般）をお願いします。
- ⇒近頃の利水安全度が低すぎると思う。



意見数=79

住民の皆様からいただいた意見 3 (環境)

◆施設整備

- ▶掛塚橋の下流の河川敷（サイクリングロード）が狭くなって使い勝手が悪い。使いやすいように。
- ▶諏訪湖から海岸まで堤防をつないでサイクリングロードを作ろう！！
- ▶流水断面を確保し、かつ、環境・景観にも配慮した高水敷整備をしてほしい。

◆自然環境

- ▶魚類の遡上・降下対策を進めて下さい。
- ▶レッドデータブック記載種をはじめとして、貴重種、河川固有種の保護を積極的に。
- ▶河川敷の自然も残して欲しい。うさぎ、キジ、やまどり等、昔はたくさんいた。又可能な限り樹木を残す事も。

◆親水

- ▶整備ゾーン、自然利用ゾーンの中で、子供が水遊びができる環境を確保して欲しい。
- ▶ワンドを利用して子供達が水遊びできるような施設を作して下さい。
- ▶子供たちが安全に河川に親しむことのできる親水公園（エリア）を人口の多い流域に設けられると良いと思います。

◆情報提供

- ▶右岸4~5kにサイクリング道路が表示されているが、初めて知った。もっとPRすべきではないか。
- ▶佐久間ダムなど多くの主体と連携して、天竜川をアピールして欲しい。

◆景観

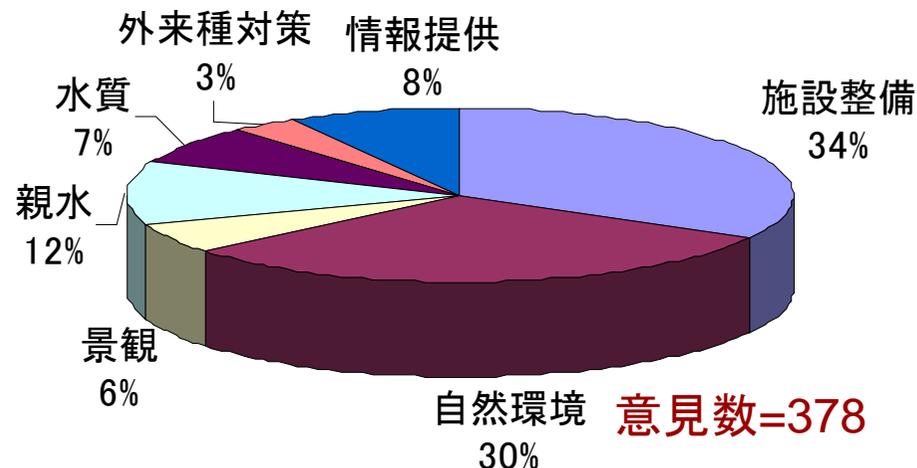
- ▶天竜川の両岸に景観ポイントを設け、整備してほしい。
- ▶護岸の整備の形態は景観と環境面から多自然工法を取り入れてほしい。
- ▶竹やぶ、樹木を切って、水が見える川にしてほしい。

◆水質

- ▶諏訪湖をきれいにして。天然のわかさが減ってしまった。（外来種の影響もあるけど）
- ▶水質の保持、流域の生活廃水の流入の制限。流域の下水道の整備の促進。広域。
- ▶天竜川の水質をもっとよくするようお互いに努力することが必要ではないか。

◆外来種対策

- ▶高水敷（河道内）に生えているニセアカシヤやアレチウリにどう対応して行ったら良いか。
- ▶天竜川全域の有害帰化植物の撲滅してほしい。



住民の皆様からいただいた意見 4 (土砂管理)

◆事業

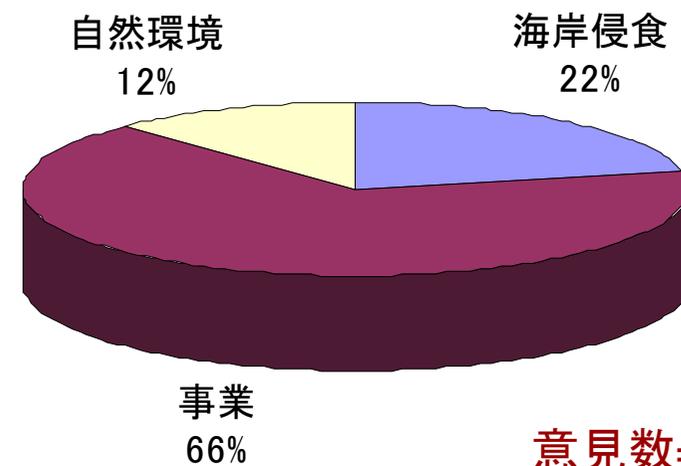
- ▶佐久間ダムの浚渫方法として、天竜川に流すとのことですが河床は高くなりませんか。河口へ運搬する方法。
- ▶佐久間ダムの排砂対策として、土砂バイパストンネルを建設するというが、秋葉ダムの堆砂増は考えられませんか。秋葉ダムには排砂ゲートが有るから大丈夫ということですか。
- ▶ダム再編、20万m³の流下によって、中流部が洪水にならないよう十分手当てすること。
- ▶大地震の地すべりについて天竜川は心配ありませんか。秋葉ダム直上流左岸側は、昔から地すべり地帯と聞いていますが？
- ▶砂を流す計画があるが、果たして下流まで流すだけの水量があるのですか？途中で堆積してしまうのではと心配です。

◆自然環境

- ▶春先、佐久間ダムでの流水掃砂は、絶対に止めて頂きたい。鮎の遡上に莫大な悪影響もあり、毎年行われる高校総体のボート競技の大会と同時に、汚濁した天竜川は全国への恥さらしである。
- ▶佐久間ダムに排砂のトンネルを作るにあたって、魚の生態をしっかりと調査してください。
- ▶本流1本流れが多い。チャラ瀬にした方が砂の流れが良いと思う。大きなカーブに砂がたまりすぎる。

◆海岸侵食

- ▶河口付近の砂浜の減少には、不安も感じています。自然に近い土砂の移動も必要かと考えます。
- ▶最も緊急対応が必要なのは、海岸浸食対策。計画を早急をお願いしたい。
- ▶遠州灘海岸の砂浜後退は、放っておけない状態であります。原因の一つに天竜川よりの補給土砂の減少が大きな要因と思われます。佐久間ダムを再開発して早く土砂を海岸に補給して、砂浜の回復を計って下さい。早期のダム再開発をお願いします。
- ▶海岸の砂が減ってきている。土砂をもっと自然の形で流して河原がなくならないようにしてほしい。
- ▶天竜川下流・河口域での海岸線の後退や漁業への影響等から、土砂の流下が必要。



意見数=174

住民の皆様からいただいた意見 5 (維持管理)

第6回 天竜川
流域委員会 資料-2-1

◆管理要望

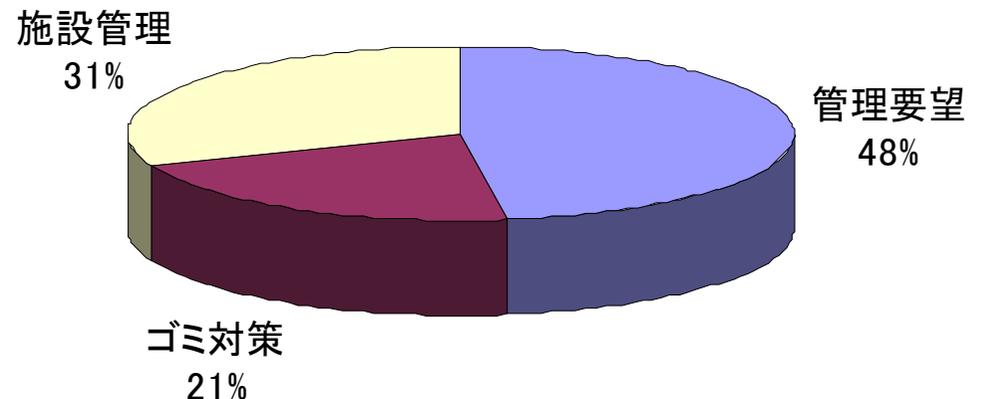
- ▶河原で四輪車が暴走できないよう、何らかの工夫を。
- ▶河川敷内の遺跡の保存方法等について力を入れて考えて下さい。
- ▶雑草を刈ってほしい。
- ▶現状、天竜川災害時の水利をとるのに、草木・樹木が多くスムーズな消火活動ができない。夜の出勤は危険であり、本流まで辿り着かない。草木の整理をお願いしたい。
- ▶天竜川全域の有害帰化植物の撲滅してほしい。
- ▶ハリエンジュ（ニセアカシア）が邪魔。景観によろしくない。
- ▶堤防を安全に、人や自転車が利用できるようにしてほしい。

◆施設管理

- ▶佐久間ダム付近、上流、下流全域で崩れやすい山の斜面はないか。あれば補強を。（地震時）
- ▶東海地震の恐れがあるこの時期の佐久間ダムの決壊は懸念されるがどうでしょうか。▶全てのダムについて、大地震（震度7前後）でダムの破損により大洪水の可能性はないか？また、耐用年数に問題ないか。
- ▶ダム湖の流木、ごみ等の処理も考えて頂きたい。
- ▶大雨が予想される時は早めにダムの放水をして、ダムの水位を下げて対応してほしい。
- ▶横山川の特殊堤防について、天端の亀裂、護岸の開き等があるので、点検、修繕等を十分行なってほしい。

◆ゴミ対策

- ▶不法投棄等、河川敷内のごみの除去を定期的な巡回で対処して下さい。全般的。
- ▶天竜川の飛竜大橋より下流の高水敷の樹木伐採を！現在樹木が茂っていてゴミ投棄が多いので、樹木をなくして見通し良い高水敷を望みます。これが憩いの場にもなります。
- ▶河川内のゴミを国交省と自治体で集めて下さい。
- ▶洪水時にゴミが流入しないような対策を取るようになってほしい。又、入ってしまった後は、除去作業をしていただきたい。
- ▶天竜川環境ピクニックに2年参加しましたが、生活ゴミ、家電製品、ドラム缶等が不法投棄されており、量の多さに驚きます。河川にゴミを捨てない啓蒙活動が大切と思います。



意見数=174

住民の皆様からいただいた意見 6（その他）

◆整備計画

- ⇒河川整備計画（30年）を決めたあとチェック機能（モニタリング含む）それに基づく検討機関が必要。
- ⇒30年間の整備の優先順位を分かるようにしてほしい。整備順位を知りたい。
- ⇒河川整備にお金を使わないで。
- ⇒天竜川河川整備計画について、30年先を見込む長期の計画であることから、十分時間をかけて、住民の意見・要望を計画に組入れて欲しい。
- ⇒整備計画がわかりづらい。わかりやすい資料を公開してほしい。

◆道路

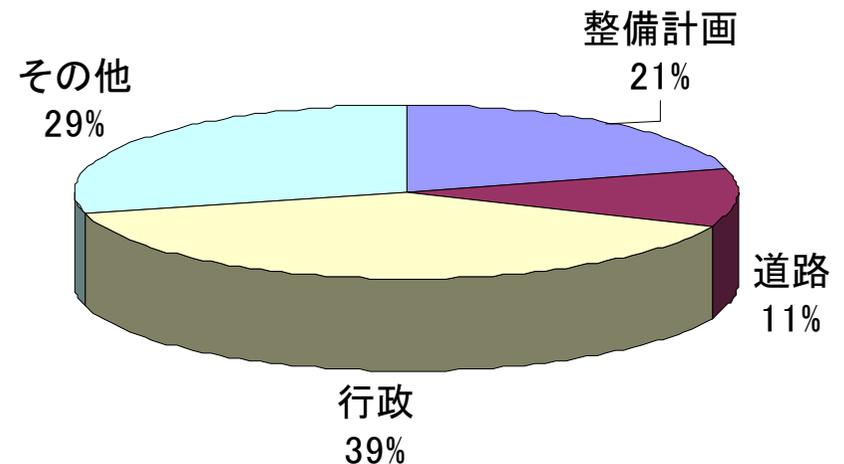
- ⇒堤防上の交通量が多いと思いますが、交通に対する安全対策はどうなっているのでしょうか。利用していて危険を感じることもあります。
- ⇒国道1号の橋と掛塚橋の間くらいに橋を。

◆その他

- ⇒サンヨリコヨリの祭りを河の文化として残す。
- ⇒この工事が進むにつれて、高齢者にとって安心でき、楽しめる場所の確保ができるのか？
- ⇒地域の中でも情報伝達がうまくいっていないので住民にも不安がある。

◆行政

- ⇒河川の計画を立てる時も色々な計画と連携してほしい。
- ⇒従来の河川整備は、人間側の利水に重点があったように思う。しかし、それが行き過ぎ自然破壊が起きている。その反省に立った整備も。それには土木系の技術者のほかに、いわゆる文系研究者の知恵の活用も必要と思う。



意見数=121